

## 官民ラウンドテーブルの開催

金融審議会「我が国金融業の中長期的な在り方に関するワーキング・グループ」の報告書「我が国金融業の中長期的な在り方について（現状と展望）」を踏まえ、本日、金融庁は、業界団体や政府系金融機関等と官民ラウンドテーブルを開催しました。

官民ラウンドテーブルは、行政運営上の意見交換や懇談の場であり、官民が、我が国金融機能の向上・活性化に向けて、持続的な対話を行っていくものです。

（参加機関）

全国銀行協会、地方銀行協会、第二地方銀行協会、信託協会、全国信用金庫協会、全国信用組合中央協会、生命保険協会、日本損害保険協会、日本証券業協会、農林中央金庫、（株）国際協力銀行、（株）日本政策金融公庫、（株）日本政策投資銀行、日本銀行、金融庁

（議事要旨）

本日の会合において、当面、以下の点について、官民双方の実務家がアドホックな作業部会を作り、自由闊達に議論を深めて行くことが合意されました。

### ◇我が国企業・金融機関の国際展開の拡充

- ✓ 国際展開を促進するため、海外金融規制に関する見直しの働きかけ
- ✓ 金融技術協力を通じたアジア諸国等の金融・資本市場の整備支援

### ◇中小企業金融の向上

- ✓ 金融機関によるリスクマネー供給力の強化等を通じた創業・新規事業支援の促進

### ◇高齢化社会に対応した金融サービスの向上

- ✓ 少子高齢化の進展に対応する金融商品の在り方
- ✓ 高齢者ニーズに応える金融商品・サービスの在り方

なお、本日の会合では、議論を喚起する目的から、金融審議会「我が国金融業の中長期的な在り方に関するワーキング・グループ」に委員として参加した有識者3名\*より、同グループの報告書を踏まえて、我が国金融業の中長期的な在り方について私見を述べて頂きました。

(\*) 山田 能伸氏 (ドイツ証券<株>)、小野 有人氏 (みずほ総合研究所<株>)、  
大垣 尚司氏 (立命館大学)

(今後の予定)

アドホックな作業部会における検討内容は、半年後を目途に再び開催される官民ラウンドテーブルに報告され、議論された後に公表する予定です。

以 上